

「九州東方・日向灘で発生する浅部低周波微動の発見と移動特性の解明」

【概要および当研究所の貢献】

九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター（現所属：東京大学地震研究所 附属観測開発基盤センター）の山下裕亮研究員は、当研究所の主任研究員 浅野陽一らとともに九州東方・日向灘におけるプレート境界浅部で発生する「低周波微動」（以下、「浅部低周波微動」）を発見しました。

当研究所では以前より、高感度地震観測網（Hi-net）や広帯域地震観測網（F-net）の記録解析によって、この地域で発生するスロー地震の一種である「浅部超低周波地震」の活動特性を明らかにしてきました。本研究においてもこの「浅部超低周波地震」の解析を担当し、新たに発見された「浅部低周波微動」と「浅部超低周波地震」の活動が時間・空間的にほぼ一致した現象であることを明らかにする上で、重要な貢献を果たしました。

なお、本研究成果は米国科学雑誌「Science」に掲載されました。